

## 第1回橘港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

日 時 : 令和5年11月15日(水) 14:00~15:30  
場 所 : 徳島グランヴィリオホテル 1階 グランヴィリオホール  
開催形式 : 対面形式

### 【議事概要】

(議事2-1: 橘港港湾脱炭素化推進協議会について)

事務局より、協議会の設置要綱(案)の説明及び座長を推薦し、承認  
座長より、副座長を推薦し、承認

(議事2-2: 橘港の概要について)

事務局より、橘港の現況(取扱貨物量及び種類、移出入・輸出入相手国及び種類、主な利用状況)を説明

(議事2-3: 四国地方整備局からの資料提供)

四国地方整備局より、「港湾脱炭素化推進計画」作成マニュアルの内容や作成手順などについて説明

(議事2-4: カーボンニュートラルに向けた徳島県の取組について)

徳島県危機管理環境部より、脱炭素化に向けた徳島県の動向、徳島県版・脱炭素ロードマップの重点施策、今後の取組み方針(GX推進計画(仮称))について説明

### <座長>

次世代エネルギーの利用については、技術開発や価格などいろいろな要素がある。

また、どのような形で県や国、地域が一体となって計画を立てていくのかを理解する必要があり、具体的な取組については計画を立てて、国の支援や推進策を含めて取組むことになる。

(議事2-5: 橘港における港湾脱炭素化推進計画の作成に向けた検討の方向性について)

事務局より、港湾脱炭素化推進計画の目標年次、対象範囲等について提案し、承認

また、今後の進め方として、企業等に対してアンケート調査を実施し、橘港における2013年度及び現状年度のCO<sub>2</sub>排出量や港湾ターミナル内等の区分毎の削減目標案を第2回協議会において提示することを説明

さらに、第2回協議会以降の検討事項として、次世代エネルギーの活用の検討、橘港におけるCO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取組の検討などを実施する旨を説明

最後に、港湾脱炭素化推進計画の作成に向けたスケジュールとして、今回を含め4回程度の協議会を開催する旨を説明

<構成員 1>

2013年度のCO2排出量は既に把握しているのか。

<事務局>

2013年度のCO2排出量については、今後、各企業様へ実施させていただくアンケート及びヒアリング調査による電力・燃料使用量や港で取り扱われている貨物量などから、CO2排出量を推計する。

<座長>

実質的に企業としても削減したいが、予算を伴う部分があると思う。また、国の方針としても、目標値とその調整が必要となるが、国の方ではゼロカーボンに向けての取組状況はどのようになっているか。

<構成員 2>

国では、GX 関連予算の中で水素・アンモニアの導入拡大の方針を示しており、一定規模の需要をいかに構築していくか検討しているところであり、港湾区域でもその取組が期待される場所。他方、先日、令和5年度補正予算案で中小企業向け支援策を公表した場所であるが、大規模な取組のほか各企業の取組の双方の支援を進めている。国の支援策の活用を検討されるようであればご相談いただきたい。

<構成員 3>

弊社でも2030年に50%削減、2050年にカーボンニュートラルという施策を検討しているが、橘港に位置する事業所単体ではなく、会社全体での目標であるため、考え方にずれが生じると思われる。このあたりは、他港の事例を参考にするなど、事務局と調整しながら進めていければと思う。

以上